事例　6

サイト所在地	Diaz Chemical Holly, NY（合衆国ニューヨーク州ホリー）
事業者・ サイト特性等	2002 年化学薬品流出事故の後、2003 年会社倒産、ドラム、コンクリートガラ、 その他の廃棄物が除去されたにも関わらず大量の汚染残存
主要な汚染・ 処理対象物質	種々の塩素化 VOC 以外に、BTEX とその誘導体
地盤・ 地質構成	表層（GL-0～0.2m）に微細な砂質ローム、GL-0.2m～-0.7m まではローム質砂、 GL-0.7m～-2.3m まではローム質細砂、GL-2.3m～-2.7m までは細砂からなる。
地下水条件	地下水位：　GL-3.7m
処理規模 面積・深度等	面積：　697 m^2；　深度：　GL-0.9～-8.5m；　容積：　5,309 m^3
適用技術 および 処理の概要	ISTD-TCH： 処理温度 100℃で、120 日運転 加熱専用井戸　：　72　箇所 多相吸引井戸　：　18　箇所 温度/圧力モニター箇所　：　8　箇所 引き続き、処理温度 150℃で、95 日運転
処理目標	土壌及び地下水の浄化
効果	現在進行中

AERIAL VIEW - THERMAL REMEDIATION SITE

①実スケール処理現場

【用地の概要と汚染の経緯】

2002 年：　化学薬品流出事故の後、2003 年会社倒産、ドラム、コンクリートガラ、
その他の廃棄物が除去されたにも関わらず、大量の汚染物が残存

【処理目標】

土壌及び地下水の浄化

【対策の概要】

72 本の加熱井戸、18 地点の多相吸引井戸による蒸気及び地下水の回収、8 地点の温度/圧力測定点で、温度及び圧力をモニターする。100℃まで加熱後に 150℃まで昇温し、処理する。合計で 215 日が処理にかかる時間である。

ISTD 稼動期間名	稼動時間（日）
装置微調整と立ち上げ	10
100℃への昇温	50
100℃での処理	60
水の除去と沸点以上への加熱（目標温度 150℃）	50
150℃での処理とサンプル採取/分析	15
水蒸気を吸引しながら系の冷却	30
合計	215